

熱海市 多賀地区協議会 WS資料

【1・2・3・4・5・6グループ】

開催日		H27.8.26地区協議会	H28.1.22地区協議会(今回)	
分類	意見	考えられる対応策	意見	
堤防施設	現況	海岸線は現況 河川について堤防はどうしますか？ 和田木地区 現状維持 景観重視 現況のまま堤防以外の対策を そもそも堤防の効果はどの程度なのか疑問 景観を損ない、効果があまりないような中途半端なものならいらない 熱海は考えられない 景観が悪くなる 百人体流灯祭が出来ない 観光地であることが重要であるので擁壁等で景色を悪くしてはいけない 擁壁が出来ることにより交通事故が多発する 5.9mの堤防で海が見えた方が良くないよりは堤防があった方が良いので5.9mの堤防で良い 堤防の高さ(長浜地区)現状で良い 観光業の支障になる 防潮堤から海が見えること 海が見えない防潮堤は意味がない	(県) ・地元との合意形成がとれば、L1津波高さに対する堤防の整備を検討できる。 ・堤防の高さについては、地元との合意形成により、L1津波高さに対する必要堤防高以下の高さに決めることができる。	下多賀地区 堤防の整備は必要なし(7人中7人) 情報を聞き上に避難すればよし 景観が悪くなる 堤防整備しない 百八体ができなくなる
	現況～L1未満	当初は全域6mで仕上げ早く完成させてもらいたい その後嵩上げすれば良い 大川左岸 道路から1.2mの高さに防潮堤を設置		上多賀地区 堤防を作るにしても歩道から1.2mくらいの高さにして欲しい(ポンプ小屋前の石垣の高さ) 歩いていけば海が見えるくらいの高さ 堤防を連続化する 埋立で海からの距離を広くとる 観光を無視してまで堤防を高くする必要はない 堤防が高いと津波が見えない 津波が見えないと避難しない
	L1以上	堤防の高さ7m必要であるが観光産業である熱海市の為に国道135号線(道路)を盛り上げ景観をそこなわないようにする(問題は商店) レベル1に対する堤防(7m)が海岸沿いに必要 7m堤防は必要 中野地区 堤防7m 現況5.9m 2.1mのカサ上げで津波が防止できるならやるべきだ 山の手へ引越し 避難道路付近に河川があるので河川にも堤防(海より150m程) 道を2m上 堤防7m 必要な高さが必要 6.0m 命が助かる人が多くなる L2に対応してほしいが ※田老町をみて L1(6~9m)であれば9m ※6m 9mも景観には変わらない？ ※外側に遊歩道 ※展望台等、設置 堤防をつくるのであれば... 高いほうがよい(9m~13m) 現状維持(和田木) 景観・経費 被害状況が同じなら経費でタワー、高台等ソフト面で 堤防高5m 現況+1.0m レベル1 津波を防げる高さで堤防を作ってほしい 理由→景観美観かなと思ふ レベル1でかさ上げ実施 L1レベルの津波に対する高さの堤防高をできるだけ確保 不足分は事前の訓練等で対応する		小山地区 L1整備 6人中6人 命、財産を守りたい 防災倉庫が水没する 小山地区については前回と同様L1の高さでマリンホールまでかさ上げて欲しい。 和田木側については和田木地区の方針に従う。 和田木地区 津波がきたら立ち上がる堤防の整備 可動式の堤防が出来ないなら普段は遊歩道として使える観光地にマッチした堤防 中野地区 高さはL1(8人中8人) 堤防必要 上多賀・下多賀・小山各町内とも防波堤建設に協力願いたい 住民の命をしっかりと守る 一日も早くかさ上げてもらいたい 人命第一 百八体行事の準備の為、現在の階段部に出入り口を作っていただきたい(通常は締切)
	水門整備	川対策 海に水門をつくってもらおう 熱海高校の倉庫から大川までの埋立 大川水門 上多賀大川水門	(県) ・堤防の整備にあわせて、二級河川への水門設置を検討できる。	河川が2か所ある為「水門」を整備して欲しい(中野地区) ・堤防の逆流防止 宮川河口水門 池田港国道下へ水門 水門の整備
	その他	防潮堤が津波を防げるのか(自然には勝てないのでは) 堤防の高さ7.0m整備する 海の中(沖)に作成 海の消波ブロックをどこどこ設置 費用対効果で考えると効果に疑問あり 神奈川県西部地震の高さで整備して欲しい 施設整備なら予算がいくらかかるのか 熱海高校倉庫～大川まで埋立 防潮堤から海が見える 地震時L1かL2かわからない？ 堤防をつくる位置によっては考え方がかわる(例えば国道より山側へ作るとか...)		
ソフト対策	避難路	避なん路、避なん場所の確保を優先すべきでは 避難路の整備が必要 途中のがけがずれ 足元灯 夜間時には停電の恐れがあるので防犯灯の一部をソーラー化してほしい(道路30m間隔に) 避難道路の整備 老人が多いため避難路の整備 避難すべき場所、方向を明確にする 避難路の幅が狭い 津波とは関係ないかもしれないが自己で避難路を考える 避難経路の設置・充実 避難経路の充実 浜からあがる道がせまい	(市) ・避難路の調査と対策	県道と市道の整備 避難路の整備 車いすが通れるもの 避難路の整備(スロープ等の整備)
	避難所・避難ビル	避難タワーの整備 避難タワーのほうがいいのではと思う 高台移転やひなんタワー整備等、ひなん対策をはかる 避難タワーの設置 命山 ヒナンタワー 避難タワーを作る 各地区に 大川右岸 津波避難タワー設置(会館) 上多賀大川右岸タワー 公民館のタワー化		和田木会館を耐震化して避難所として使用する お浜地に避難タワーを作れば良い タワーは不要 避難ビルの指定 わかるように 上多賀会館に避難タワー
	避難誘導 避難訓練	避難者を(特に高齢者)早く深く手だて 率先して逃げる人がいるか ソフト面でやる 避難訓練の実施 地震が発生したらただちに避難する事を訓練しておく 素直に避難かな 夜間の想定も大事	(市) ・津波避難計画及びハザードマップの作成 ・避難訓練	
	その他	広報無線が良く聞こえない為、整備を実施して欲しい 夏期の繁忙期では堤防が支障になって避難できないサイン 放送設備(地震時でも稼働できる物)が必要 サインは照明付きで 家屋の倒壊が心配 家に1件避難部屋 東日本地震でスーパー堤防は役立たなかった	(市)無線等の整備 (市)避難誘導標識の整備 (県)(市)・TOUKAI-OIによる支援	広報無線が聞こえない 情報伝達方法 年寄り、身障者の避難対策 避難訓練の充実 下多賀 マーキング L1 うみえーる長浜に放送が聞こえるようにして欲しい、夜は明かりが欲しい 高齢者や移動困難な人の配慮
その他	命が優先			